株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	〒168－0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	電話　0120－782－031（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL（http://www.sunwa.co.jp/ir3/ir_info）

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際ご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

＊確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

サンワテクノス株式会社
東京都中央区八重洲二丁目8番7号（福岡ビル）
TEL.03-5202-4011　FAX.03-5202-4054

株式会社プロネクサス　印刷

SUNWA

第68期 中間株主通信

自 平成27年4月1日　至 平成27年9月30日

サンワテクノス株式会社

証券コード8137

人材と組織力の両輪で「JUMP1200」を完遂し、将来への布石を打つ

代表取締役社長　山本　勢

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

連結売上高1,200億円を目指す第８次中期経営計画「JUMP1200」は、計画2年目まで順調に推移し、今年4月から最終年度に入りましたが、第1四半期まで堅調だった主力分野であるFA関連のお客様からの受注が7月以降減少し、逆風が吹いています。要因としては中国経済の減速と、同国や新興国の自動車市場の停滞を受けた設備投資の見直しがあげられます。

そうした中でも当社では、「JUMP1200」の重点施策を着実に実行し、活動が浸透する過程で具体的な成果も生まれており、確かな手応えを感じています。

中間配当金につきましては、株主の皆様への日頃のご支援に報いるべく、1株当たり14円の配当を実施いたしました。また期末配当も1株当たり14円とし、年間配当28円とさせていただく予定です。

製品・技術の価値を高める組織力で新たなビジネスモデルを構築する

【重点施策】「電機・電子・機械の複合ビジネスとエンジニアリング力を最大限発揮できる組織の構築」では、まず今年4月に発足した「FAシステム営業統括部」「産業ソリューション統括部」を中心に、電機・機械分野におけるビジネスモデルの高付加価値化に取り組んでいます。現在、主力メーカーを中心とする製品・技術の情報の共有化が進み、電機・機械を融合した複合営業による独自の提案活動を強化しているところです。さらに今後、従来部門別だったお客様への担当窓口の再編に取り組み、営業・技術支援一体での組織力強化を図っております。

また、システムの開発から設置までのワンストップソリューションで両部の営業展開を下支えする「エンジニアリング部」も、今年10月から23名体制で本格稼働し、社内外へのPR活動と協力企業とのパートナーシップの強化に取り組んでいます。人材・技術力のさらなる強化を図りながら、制御技術を核とする質の高い多彩なシステムを提供し、「JUMP1200」完遂までに具体的な成果をあげていきたいと思います。

“三本の矢”ともいうべきこれら3部のメンバーが、それぞれプロとしての強みを発揮し連携して、国内外の具体的な商談・プロジェクトを成功に導き、協力企業を含めた独自のビジネスモデルを構築していきます。

エンジニアリング力と戦略的SCMでグローバルビジネスを強化

【重点施策】「新興国を始め、海外事業をさらに拡大する」については、自動車関係のお客様の自動化ニーズに応えてタイ、インドネシア、北米（シカゴ）で展開する当社のエンジニアリングサポートが高く評価されていますが、今年9月、メキシコにも現地法人を設立しサービスを開始しました。部品メーカーなどのお客様に対して、アメリカで実績を積んだメンバーを中心に、今後は本社エンジニアリング部の優秀な人材を派遣し、ロボットの導入による自動化対応など、お客様の生産効率化・収益性向上のお手伝いをしていきます。

メキシコ現地法人（左）、
フィリピン現地法人（右）

また、現地での電子部品の供給を目的に同時に設立・始動したフィリピンの現地法人では、今後のASEAN経済共同体（AEC）発足による域内貿易促進の流れを見据え、ベトナム、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポールの域内拠点と香港物流センターとの有機的な連携による当社独自の「グローバルSCM（サプライ・チェーン・マネジメント）ソリューション」の一翼を担っていきます。

成長市場への挑戦を通して産業や社会への貢献を果たす

一方、国内を中心に【重点施策】「成長市場の開拓を積極的に進め、新規事業の確立を目指す」では、環境エネルギーや医療・福祉、車載製品など特定の市場分野を深く掘り下げる特化型の販売組織が着実に成果をあげておりますが、今後はTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への対応として農業の生産性向上、産業としての競争力強化に資する新たな事業の創出も目指します。

特に、優れた商談テーマを表彰する当社の「サマーキャンペーン」では毎年若い社員の新規開拓テーマの表彰が実績として出てきています。

また、女性社員を中心に省エネや生活環境向上の提案活動に取り組む「ニューライフ」プロジェクトで推進する、LEDによるオフィス・施設の省エネや、人命救

当社社員を講師とするAEDの使い方講習

助に不可欠なAED（自動体外式除細動器）の使い方を含めた啓蒙・普及活動が好評を得ています。これはモノづくりの現場を主戦場とする当社の従来事業とは異なる領域ですが、新しい市場、生活領域での提案活動をきっかけにロボットなどの新規テーマの発掘につながり複合的な効果が生まれています。当社ではこうした活動を、ビジネスを超えた企業責任（CSR）、社会貢献に資する取り組みとしても位置付け、積極的に広めていきます。

ハード・ソフト両面から企業価値の向上を目指す本社移転

当社では今年12月、今後の業容拡大に向けた部門間の情報共有と業務効率化による総合力強化を目的に本社を移転します。これは成長し続ける企業としてお客様からさらなる信頼を獲得するための当社の挑戦でもあります。利便性・機能性などのオフィス環境と社員のモチベーションの向上を図り、労働生産性と事業推進力を高めていきます。また移転に伴い、社員一人ひとりが自律的に進めてきた業務改善の取り組みに加えて、海外現地法人を含めたサンワテクノスグループの販売管理システムと会計システムの情報の一元化と共有化を図り、迅速な経営判断に役立つデータ提供や業務の省力化・先鋭化を図る諸施策を講じていきます。

本社移転は社員の意識改革、企業風土の変革への取り組みです。創造性のある仕事に取り組む職場風土を醸成し、社員一人ひとりのワークライフバランスの実現を目指します。

「JUMP1200」の完遂に向け、若い世代のチャレンジ精神を引き出す

当社の財産である人材については、個人の人格形成を前提に、メーカー研修や階層別研修、海外研修など多彩な人材教育制度の充実に努めておりますが、今後も女性社員の活躍の場を広げるとともに、海外現地法人を含めた若い世代が自律的に挑戦して活躍できる企業グループを目指します。

現在、次期中期経営計画の策定に向けて、若い世代や次世代幹部を中心に重点施策を議論する一方で、「JUMP1200」の総仕上げを前に、各部店に足を運び、事業環境の良し悪しにかかわらず、愚直に商談を発掘しビジネスを創出し続けるチャレンジ精神の大切さを全社員に伝えています。長期的な視野から当社グループの総合力を強化し、技術商社としての存在価値を高め、株主の皆様から長期的にご支援・ご評価いただける企業として成長し続けていきます。今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第８次中期経営計画（JUMP1200）

～サンワテクノスグループとして大きく飛躍し、連結売上高1,200億円を目指す～

◆方針

- グローバル展開による事業の更なる拡大
- 独自の提案と技術力による企業価値の向上
- 市場動向を先取りし、迅速な対応で顧客満足を追求
- 筋肉質の企業体質を進め、収益力向上
- CSR経営を進める

◆重点施策

- 電機・電子・機械の複合ビジネスとエンジニアリング力を最大限発揮できる組織の構築
- 新興国を始め、海外事業を更に拡大する
- 成長市場の開拓を積極的に進め、新規事業の確立を目指す
- グローバルロジスティック機能の拡充強化
- サンワテクノスグループの管理体制整備
- 社是を基本とした人材教育体系を確立

◆経営目標

世界で活躍する真のグローバルカンパニーを目指し、
常に成長し続ける強い技術商社としてのサービスを提供する

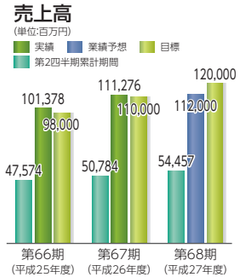
- 最終年度　第68期（平成27年度）
  連結売上高 1,200億円
- 売上高経常利益率 3.5%以上を継続的に確保

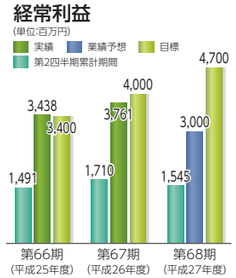
◆実績及び業績予想

【連結】　（単位：百万円）

	第66期（平成25年度）	第67期（平成26年度）	第68期予想（平成27年度）
売上高	101,378	111,276	112,000
営業利益	3,211	3,471	2,800
経常利益	3,438	3,761	3,000
当期純利益（※）	2,168	2,466	2,000
売上高経常利益率	3.4%	3.4%	2.7%

（※）親会社株主に帰属する当期純利益



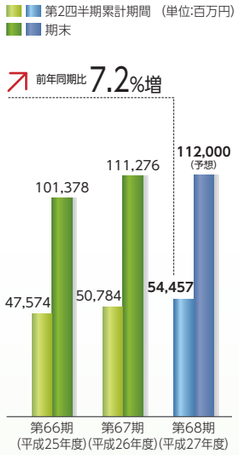


SUNWA

売上高

544億57百万円

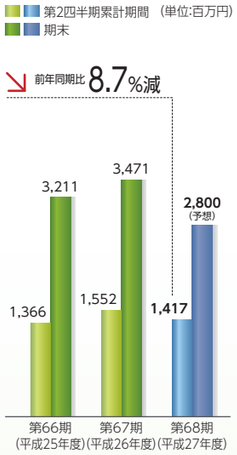
前年同期比 36億73百万円増



営業利益

14億17百万円

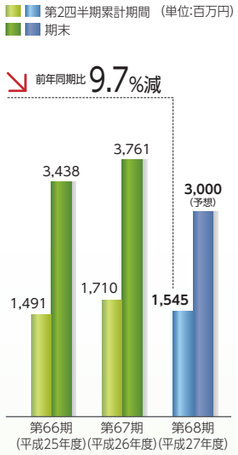
前年同期比 1億35百万円減



経常利益

15億45百万円

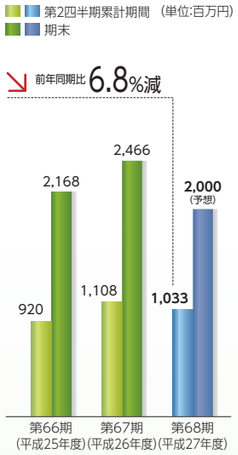
前年同期比 1億65百万円減



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

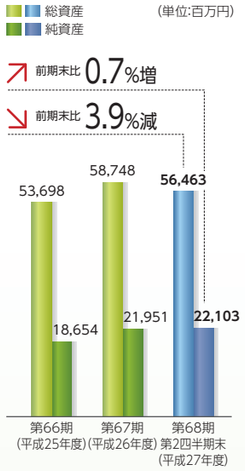
10億33百万円

前年同期比 75百万円減



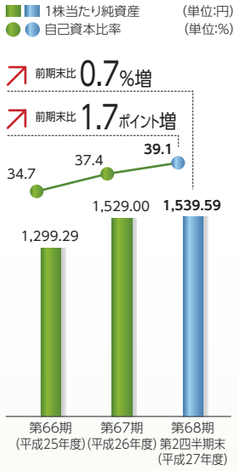
総資産／純資産

総資産	564億63百万円
純資産	221億 3百万円
総資産前期末比	22億85百万円減
純資産前期末比	1億51百万円増



1株当たり純資産／自己資本比率

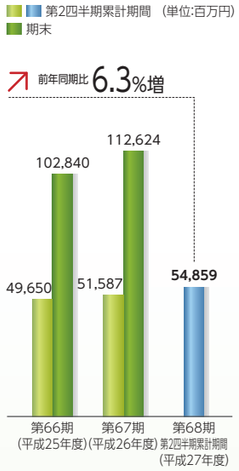
1株当たり純資産	1,539円59銭
自己資本比率	39.1%



受注高

548億59百万円

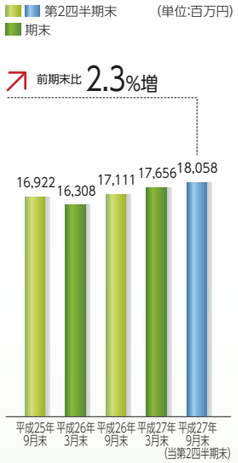
前年同期比 32億72百万円増



受注残高

180億58百万円

前期末比 4億1百万円増



決算ハイライト

当第２四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済政策の効果もあり企業収益の改善を背景に設備投資が緩やかに増加しており、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、中国経済をはじめとした海外景気の減速への警戒感等が、日本経済の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、スマートフォン向けの需要が引き続き堅調を維持しているものの、中国経済減速の影響を受けて、半導体関連業界、産業機械業界の受注環境の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境の中で当社グループは、第８次中期経営計画（JUMP1200）の最終年度も引き続き重点施策を推進しております。特に電機・電子・機械の複合ビジネスに“エンジニアリング力”をプラスし、技術商社としての企業価値の向上を目指す取り組みに加え、新たなビジネス領域を開拓する取り組みを推進しております。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期を上回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回る結果となりました。

通期の見通し

中国経済減速の影響を受け、当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界は先行きの不透明感が強くなってきております。当社グループの業績もその影響を避けられず、中国での販売が減少傾向で推移いたしました。また、国内では半導体・液晶業界、アミューズメント向けの販売が当初の計画を下回る水準で推移していることから、通期業績予想を右記の通り修正いたしました。

第68期　通期業績予想

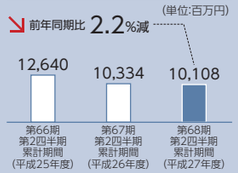
売上高	112,000百万円	（前年同期比0.7%増）
営業利益	2,800百万円	（前年同期比19.4%減）
経常利益	3,000百万円	（前年同期比20.2%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000百万円	（前年同期比18.9%減）
1株当たり当期純利益	139円31銭	

（注）業績予想につきましては、平成27年10月28日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

電機部門

売上高構成比率 18.6%

売上高
101億8百万円
前年同期比 2億26百万円減



電機部門では、半導体製造装置向けのサーボモータの販売が増加いたしましたが、太陽光発電システム向けの制御機器の販売は減少いたしました。

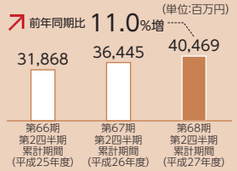
主な営業品目
ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等

ACサーボモータ

電子部門

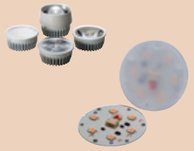
売上高構成比率 74.3%

売上高
404億69百万円
前年同期比 40億23百万円増



電子部門では、産業機械業界向け、自動車関連業界向け及び産業用ロボット向けの電子部品の販売が増加いたしましたが、アミューズメント向けの電子部品の販売は一部減少いたしました。

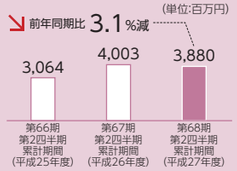
主な営業品目
電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等


LED照明モジュール

機械部門

売上高構成比率 7.1%

売上高
38億80百万円
前年同期比 1億23百万円減



機械部門では、自動車業界向けの生産設備の販売が増加いたしましたが、液晶搬送設備向けの設備機器の販売は減少いたしました。

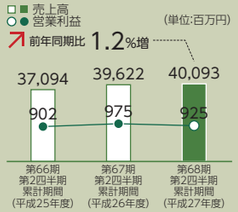
主な営業品目
半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等

双腕ロボット

SUNWA

日本

売上高構成比率 68.3%

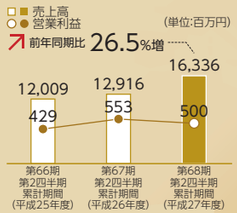


売 上 高　400億93百万円（前年同期比 4億71百万円増）
営業利益　9億25百万円（前年同期比　49百万円減）

半導体製造装置向けのサーボモータの販売、産業機械業界向け及び自動車関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしましたが、太陽光発電システム向けの制御機器の販売、アミューズメント向けの電子部品の販売及び液晶搬送設備向けの設備機器の販売は減少いたしました。また、第８次中期経営計画（JUMP1200）の目標達成に向けた積極的な営業活動に伴い販売費及び一般管理費が増加いたしました。

アジア

売上高構成比率 27.5%

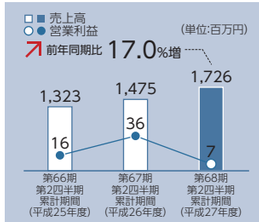


売 上 高　163億36百万円（前年同期比 34億20百万円増）
営業利益　5億　0百万円（前年同期比　53百万円減）

アジア地域では、産業機械業界向け、産業用ロボット向け及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしましたが、産業機械業界向けのサーボモータの販売は減少いたしました。

欧米

売上高構成比率 3.1%

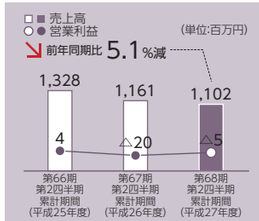


売 上 高　17億26百万円（前年同期比 2億50百万円増）
営業利益　7百万円（前年同期比　28百万円減）

欧米では、自動車業界向けの生産設備の販売及びインバータ、サーボモータ向けの電子部品の販売が増加いたしましたが、POSシステム向けの電子部品の販売は減少いたしました。

その他 ※

売上高構成比率 1.1%



売 上 高　11億　2百万円（前年同期比 59百万円減）
営業利益　△5百万円（前年同期比 14百万円増）

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

（注1）売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
（注2）上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

欧州

SUN-WA TECHNOS（EUROPE）GmbH
ドイツ（フランクフルト）

米州

アメリカ（シカゴ）
アメリカ（グリーンビル）
サウスカロライナ
メキシコ
（ケレタロ）

SUN-WA TECHNOS AMERICA,INC.
SUN-WA TECHNOS MEXICO S.A. DE C.V.

中国・香港・台湾

中国（天津）
中国（大連）
中国（瀋陽）
中国（蘇州）
中国（上海）
中国（上海メカトロセンター）
中国（深圳）
中国（広州）
中国（杭州）
台湾（台北）
台湾（台中）
台湾（台南）
ベトナム
（ハノイ）
香港
香港物流センター

SUN-WA TECHNOS（H.K.）CO.,LTD.
SUN-WA TECHNOS（TAIWAN）CO.,LTD.
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO.,LTD.
SUN-WA TECHNOS（SHENZHEN）CO.,LTD.

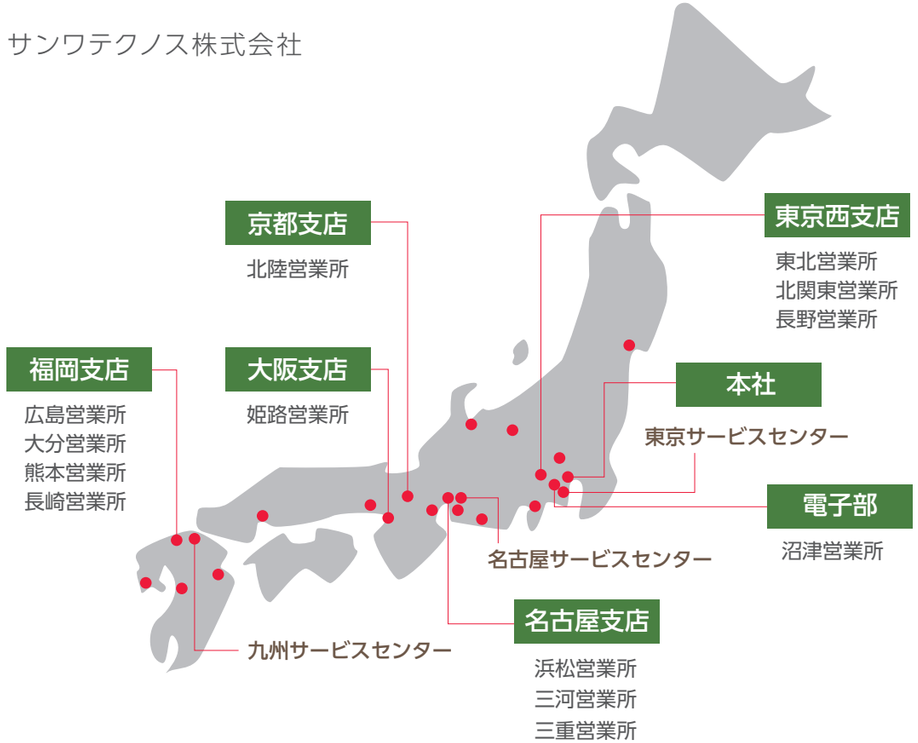
ASEAN

フィリピン
（マニラ）
タイ
（バンコク）
マレーシア（クアラルンプール）
シンガポール
インドネシア
（ジャカルタ）

SUN-WA TECHNOS（SINGAPORE）PTE LTD.
SUN-WA TECHNOS（MALAYSIA）SDN.BHD.
SUN-WA TECHNOS ASIA（THAILAND）CO., LTD.
PT. SUNWA TECHNOS INDONESIA
SUN-WA TECHNOS（PHILIPPINES）, INC.

国 内

サンワテクノス株式会社



サンワトリニティ株式会社
サンワロジスティック株式会社

各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「事業所／関連会社」をご覧ください。

http://www.sunwa.co.jp/ サンワテクノス 検 索

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目／期別	前期 平成27年3月31日現在	当第2四半期 平成27年9月30日現在
（資産の部）		
流動資産	49,239	47,855
固定資産	9,509	8,608
有形固定資産	3,879	3,806
無形固定資産	243	240
投資その他の資産	5,386	4,561
資産合計	58,748	56,463
（負債の部）		
流動負債	32,370	30,980
固定負債	4,426	3,379
負債合計	36,797	34,360
（純資産の部）		
株主資本	18,929	19,761
その他の包括利益累計額	3,022	2,342
純資産合計	21,951	22,103
負債及び純資産合計	58,748	56,463

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目／期別	前第2四半期累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
売上高	50,784	54,457
売上原価	44,283	47,709
売上総利益	6,500	6,748
販売費及び一般管理費	4,948	5,331
営業利益	1,552	1,417
営業外収益	197	216
営業外費用	39	87
経常利益	1,710	1,545
税金等調整前四半期純利益	1,710	1,545
法人税等	602	512
四半期純利益	1,108	1,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,108	1,033

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目／期別	前第2四半期累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,218	△190
投資活動によるキャッシュ・フロー	25	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234	△263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	22
現金及び現金同等物の増減額	△1,481	△732
現金及び現金同等物の期首残高	6,453	7,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,972	6,367

SUNWA

会社の概要

（平成27年9月30日現在）

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目8番7号（福岡ビル）
設立年月日	昭和24年11月4日
資本金	25億5,300万円
発行済株式の総数	14,438,000株
従業員数	492名（連結872名）
ホームページ	http://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売

役員

（平成27年9月30日現在）

代表取締役会長	山田 益二郎
代表取締役社長	山本 勢
専務取締役	田中 裕之
常務取締役	福田 均
常務取締役	五十嵐 正憲
常務取締役	三根 省一郎
取締役	牧野 利彦
取締役	花山 一八
取締役	村上 信哉
取締役	後藤 潔
取締役	田中 八重子
※取締役	青木 眞徳
※取締役	小泉 敏郎
常勤監査役	武内 和仁
※監査役	安國 一
※監査役	中村 康男
※監査役	上野 啓

※取締役 青木眞徳及び小泉敏郎の両氏は、社外取締役であります。
※監査役 安國一、中村康男及び上野啓の３氏は、社外監査役であります。

株式の状況

（平成27年9月30日現在）

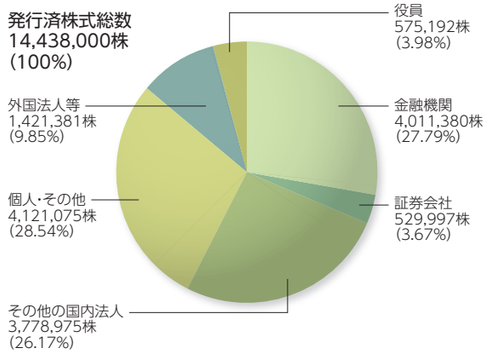
1. 発行可能株式総数 33,380,000株
2. 発行済株式の総数 14,438,000株
3. 株主数 3,135名
4. 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社安川電機	797,280 株	5.55 %
第一生命保険株式会社	729,960	5.08
株式会社りそな銀行	545,160	3.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	545,160	3.79
オリジン電気株式会社	498,000	3.46
オークマ株式会社	435,600	3.03
山田 益二郎	393,600	2.74
オムロン株式会社	355,080	2.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	274,800	1.91
サンワテクノス社員持株会	270,302	1.88

（注）「持株比率」は自己株式（81,142株）を控除して計算しております。

5. 株式の分布状況

（所有者別）



海外子会社設立のお知らせ（フィリピン、メキシコ）

フィリピン共和国及びメキシコ合衆国に、以下の通り子会社を設立いたしました。

SUN-WA TECHNOS（PHILIPPINES）, INC.
サンワテクノス フィリピン

【住所】
Unit No. 1405, Tower One ＆ Exchange Plaza,
6767 Ayala Avenue, Makati City 1226, Philippines

電話番号：（+63）2－886－6914
FAX番号：（+63）2－834－2432

【開設日】
平成27年9月28日（月）

フィリピン進出顧客への現地密着サービスを行うことを目的とし、併せてASEAN地域でのさらなる事業拡大を図ってまいります。

SUN-WA TECHNOS MEXICO S.A. DE C.V.
サンワテクノス メキシコ

【住所】
Av. 5 de Febrero, 1351 Empresalia, Edificio Robel oficina 208
Queretaro, MEXICO C.P. 76120

電話番号：（+52）442－690－1050
FAX番号：（+52）442－690－1059

【開設日】
平成27年9月28日（月）

メキシコにおける自動車業界向けビジネスへの投資に対して生産設備の一貫したエンジニアリングサポートと現地調達及び生産のサポートを行うことを目的とし、併せて北米地域でのさらなる事業拡大を図ってまいります。

本社移転及び事務所統合のご案内

当社は今後の業容拡大に対し、部門間の情報共有化及び業務の効率化を図るため、本社オフィス（中央区八重洲）と電子部（大田区山王）を統合し以下のとおり移転することになりましたので、ご案内申し上げます。

新所在地	〒104－0031　東京都中央区京橋3－1－1　東京スクエアガーデン18F	
電話番号	03－5202－4011（代表）	・代表電話番号・代表FAX番号の変更はございません。
FAX番号	03－5202－4054（代表）	
業務開始日	平成27年12月21日（月）	・本　社（旧住所　東京都中央区八重洲2－8－7　福岡ビル）
	平成28年　1月12日（火）	・電子部（旧住所　東京都大田区山王4－14－3　山田山王ビル）

個人投資家様向け会社説明会（東京、大阪）を開催

平成27年9月5日（土）大和コンファレンスホール（東京地区 大和インベスター・リレーションズ主催）、11月14日（土）アクセス梅田フォーラム（大阪地区 ラジオNIKKEI主催）で開催された「個人投資家向け会社説明会」に参加いたしました。

東京では約300名、大阪では約250名の個人投資家の皆様が来場され、山本社長より会社概要、第８次中期経営計画（JUMP1200）、業績、株主様への利益還元について説明いたしました。また、大阪での説明会は当社IR放送のパーソナリティでもあるラジオNIKKEIの鎌田記者との対談方式で行いました。

当社では、このような会社説明会はもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。

なお、当説明会の資料は当社ホームページ（http://www.sunwa.co.jp/）でご覧いただけます。

IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に山本社長が出演しております。
放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、第８次中期経営計画（JUMP1200）など。
なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。
（詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。http://www.radionikkei.jp/8137ir/）

■ラジオNIKKEI 第1　15時25分頃～
「ザ・マネー」内コーナー「サンワテクノスIR特集」

放送日

第１回　平成27年　6月　3日（水）終了	第２回　平成27年7月 29日（水）終了
第３回　平成27年11月18日（水）終了	第４回　平成28年2月　3日（水）予定

第１～３回の放送は終了し、オンデマンドで配信中です。